

福島第一原子力発電所における不適合発生・処理状況について
(2018年度第4四半期)

2019年 5月15日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

○2019年1月1日～3月31日の間にパフォーマンス向上会議で審議された「不適合」は171件
ありました。そのうち、処置が完了した不適合件数は53件※です。

○2017年8月1日～2018年12月31日の間にパフォーマンス向上会議で審議された「不適合」
は701件ありました。そのうち、処置が完了した不適合件数は571件※です。

※2019年3月31日現在

○不適合の発生及び処置状況の詳細については、添付資料参照

・添付資料—1

「福島第一原子力発電所不適合発生・処置状況 2018年度第4四半期分
(2019年1月1日～2019年3月31日)」

・添付資料—2

「福島第一原子力発電所不適合発生・処置状況 ホームページ掲載以降の過去分
(2017年8月1日～2019年3月31日)」

○パフォーマンス向上会議において審議された全件名については、「不適合の公表区分」に
応じて、プレス発表または当所ホームページ上において全数公表しております。

・添付資料—3 (不適合管理グレードIに関わる件名を抜粋)

「2018年度第4四半期不適合詳細(委員会確認日:2019年1月1日～2019年3月31日まで)」

<原子力発電所における不適合の是正管理>

原子力発電所では、設備の健全性を維持し、安全運転を継続するため、発電所設備の施
設定期検査や安全確保設備等の巡視点検、定例試験、点検・修理等を行っております。

その中で、「不適合 *」が発見された場合には、「不適合管理及び是正処置・予防処置基
本マニュアル」に基づき、必要な是正処置等を講じることとしております。

* 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは
異なる行為(判断)を言います。

不適合管理グレード分け(パフォーマンス向上会議にて決定)

○GI : 是正処置^{※1}・予防処置^{※2}を確実に実施すべき重要なことから

○GII : 是正処置^{※1}を確実に実施すべきことから

○GIII : 修正処置^{※3}などを伴うことから

○対象外 : 消耗品の交換等のことから

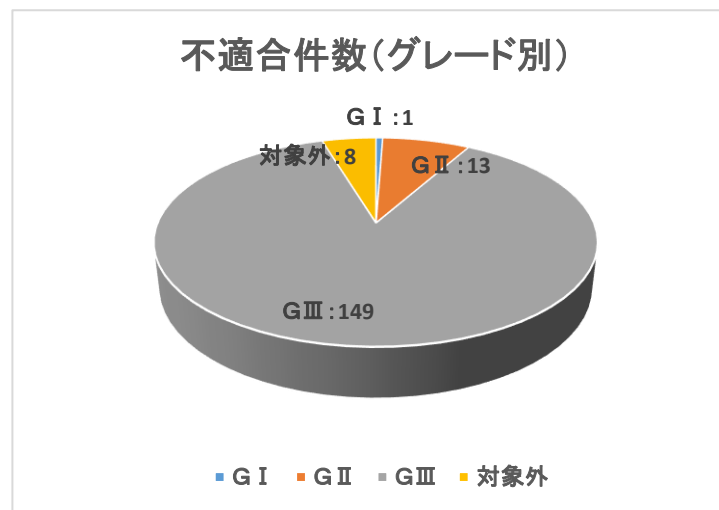
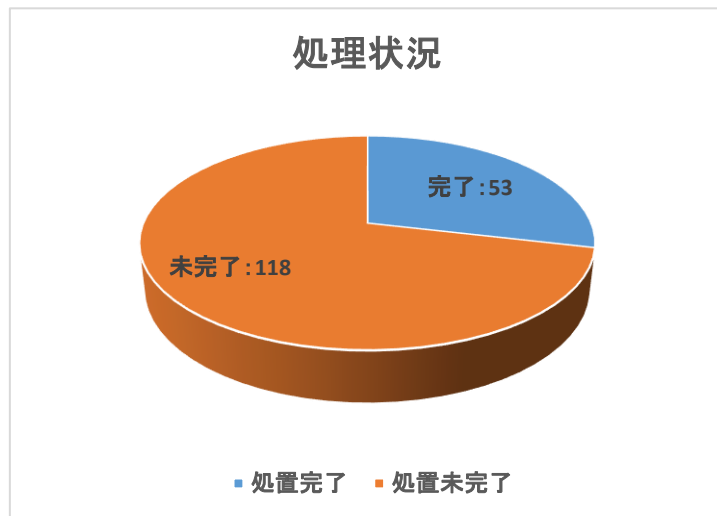
※1 是正処置 : 不適合の原因を除去するための処置 (= 再発防止対策)

※2 予防処置 : 是正処置を他発電所へ展開する処置 (= 水平展開)

※3 修正処置 : 当該不適合を除去するための処置 (= 修理、修正)

以上

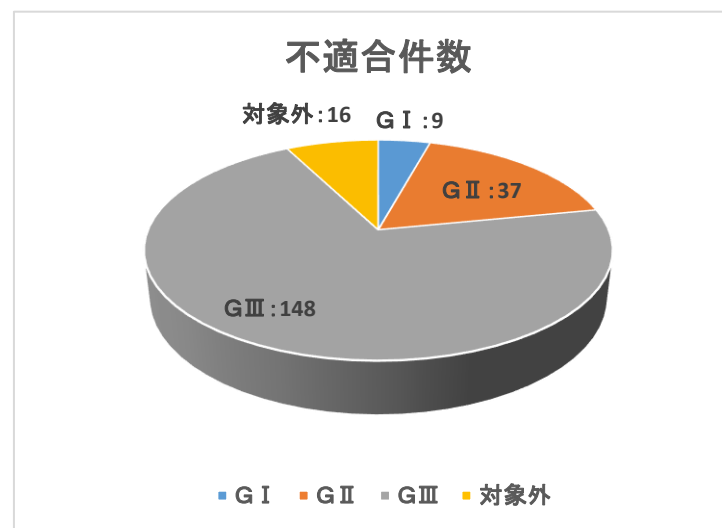
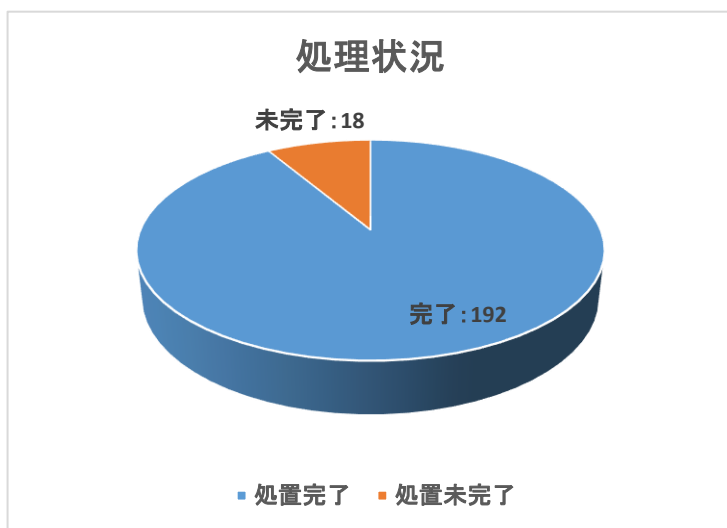
福島第一原子力発電所不適合発生・処置状況 2018年度第4四半期分
(2019年1月1日～2019年3月31日)



グレード	処置完了	処置未完了
G I	0件	1件
G II	3件	10件
G III	42件	107件
対象外	8件	0件
総計	53件	118件

グレード	不適合件数
G I	1件
G II	13件
G III	149件
対象外	8件
総計	171件

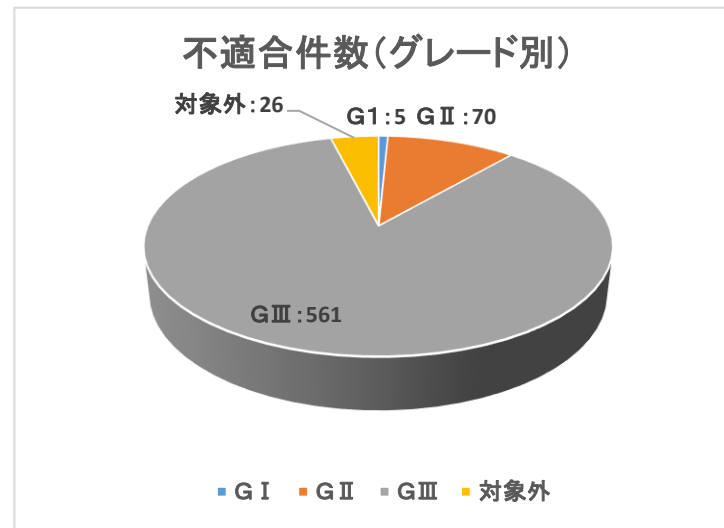
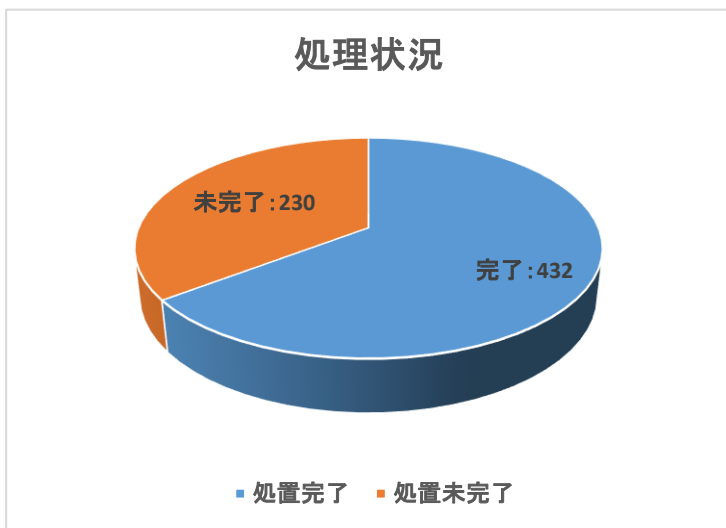
福島第一原子力発電所不適合発生・処置状況 2017年度分
(2017年8月1日～2018年3月31日)



グレード	処置完了	処置未完了
G I	5件	4件
G II	35件	2件
G III	136件	12件
対象外	16件	0件
総計	192件	18件

グレード	不適合件数
G I	9件
G II	37件
G III	148件
対象外	16件
総計	210件

福島第一原子力発電所不適合発生・処置状況 2018年度分
(2018年4月1日～2019年3月31日)



グレード	処置完了	処置未完了
G I	2件	3件
G II	49件	21件
G III	355件	206件
対象外	26件	0件
総計	432件	230件

グレード	不適合件数
G I	5件
G II	70件
G III	561件
対象外	26件
総計	662件

2018年度第4四半期不適合詳細（委員会確認日：2019年1月1日～2019年3月31日まで）
 （不適合管理グレード I に関わる件名を抜粋）

G I グレード：1件

No	件名	委員会 確認日	グレード
1	<p>【原子炉注水系水源切替時における2号機復水貯蔵タンク炉注水ポンプ(A)(B)の停止について】</p> <p>2号機復水貯蔵タンク復旧に伴う原子炉注水系水源の切替操作において、2号機復水貯蔵タンク炉注水ポンプ(B)の吸込圧力低下が確認されたことから、炉注水ポンプ(A)を起動したところ、「原子炉注水ポンプ供給圧力高」にて炉注水ポンプ(A)(B)ともに停止を確認。その後、炉注水ポンプ(A)を起動した。</p>	2019/1/10	G I